

令和6年度千葉県東総文化会館指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設名等

施設名	千葉県東総文化会館
指定管理者	公益財団法人千葉県文化振興財団
指定管理期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）
評価対象年度	令和6年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	県東部地域における文化芸術振興の拠点として、地域における文化活動支援や鑑賞機会の拡充を図る。
指定管理者が行う業務の範囲	① 文化活動のための施設の提供 ② 集会のための会場の提供 ③ 県民の文化芸術の振興を図るための事業の企画及び実施 ④ その他文化会館の設置の目的を達成するための業務

(3) 施設の運営状況

年度	利用者 (人)※1	事業費等の内訳（千円）				
		指定管理料 (A)	その他維持 管理費(B)※2	使用料等 県収入(C)	県の収支 (C-A-B)	(参考) 利用料金
令和6	90,096	150,833	17,009	57	△167,785	21,590
(参考) 令和5	84,815	150,186	28,306	57	△178,435	24,788

※1 カウント方法：施設全体（大ホール、小ホール）の利用者数

※2 維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費（指定管理料に含まれるものを除く）

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

■管理業務の実施状況に関する事項

評価項目	評価	評価理由等
施設の設置目的・法令等の遵守等	A	千葉県立文化会館の設置及び管理に関する条例をはじめとする関係法令を遵守した管理運営を行った。個人情報及びデータは適正に管理されていた。県への定期的な報告、日常の相談や連絡等も適切に行われた。
安全性の確保	S	職員による日常点検に加え、「施設維持管理年間作業計画表」を作成し、専門業者等による定期点検を計画的に実施し、施設の安全確保を図った。

		年2回の総合防災訓練では、津波を想定した避難誘導等の訓練や煙道体験を実施し、実践的な訓練を実施した。また、不測の事態に備えて危機管理マニュアルを整備するとともに、指定管理者が独自に作成した「防災カード」を全ての職員が常に携行し、発災時に直ちに防災行動をとれるよう意識付けを行っている。
適切な管理運営	A	警備、清掃等は催し物の状況に応じて適切に実施されており、主催者に対しては、イベント運営や舞台全般に対するきめ細かい助言を行った。多くの職員がサービス介助士や認知症サポーター等の資格を有し、来所者の問い合わせや要望に迅速に対応するなど、あらゆる人が利用しやすい環境整備に努めた。
適切な財産管理	A	舞台・照明・音響設備については、職員による日常点検と専門業者による点検を計画的に行い、適切な維持管理を行った。点検で確認された不具合や突発的に発生した設備機器の不具合や故障について、適切に対応した。また、有資格者が日頃から細部にわたり自主点検を行い、専門業者と情報交換を行う等保安全管理に努めた。

■事業の企画運営に関する事項

評価項目	評価	評価理由等
事業の実施 (必須事業)	S	令和6年度は30事業27公演を実施した。 劇団四季ファミリーミュージカルや青島広志氏指揮によるファミリーコンサートなど、著名なアーティストによる芸術性の高い公演を開催した。また、中高生を中心に企画・運営し開催した「RISE Project TOSO Dance Festival RISE3」や、「東総の文化を紡ぐ会」と連携して文化会館の外壁面やステージを活用した子ども向けワークショップ等の県民参加事業を実施した。 また、県東部地域の観光施設、幼稚園・認定こども園等でアウトリーチ公演を実施するなど、地域における文化芸術振興の拠点施設として、多彩な事業を企画し、県民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組んだ。
サービスの向上 地域の連携等	A	県立文化会館4館の指定管理者として、ホームページのデザインを4館で統一し、スマートフォンやタブレットにも対応させている。 4館の主催公演情報が一元化されたイベントカレンダーの作成、主催公演の若者向け割引チケットの販売、公演チケットを他の県立文化会館で購入可能とするなど、利用者の利便性向上に取り組んだ。 地元市や地域のアーティストと連携した文化事業や、幼稚園・こども園等でのアウトリーチ事業、学校と連携したギャラリー展示など、地域との連携を深め、地域の方に親しまれる施設の管理運営に取り組んだ。

■施設利用状況に関する事項

評価項目	評価	評価理由等
利用者数、稼働率、 料金収入等	A	施設の利用促進活動に取り組んだことにより、大ホール利用率は60.1%（前年度58.6%）と増加し、利用人数、利用回数も前年度と比較して増加した。ただ、大規模公演等が少なかったことにより、利用料収入は前年度と比べて減少した。

管理運営体制	A	施設を管理運営するために必要な組織、人員配置を整え、適切に運営した。危機管理対策や事業企画、アートマネジメントなど、様々な研修機会を設け、職員の能力向上に努めた。
収支状況	A	光熱費高騰による影響を受ける中、公演事業収入の増や経費の縮減などに取り組み、黒字となった。
利用者意見の反映 利用者満足度	A	館内3か所にアンケートボックスを設置し、利用者、来場者からの意見に対して速やかに回答し、会館内に掲示した。施設全体の満足度については、「満足」と「やや満足」で100%と高い満足度を得ている。

■総合評価

評価	評価理由等
良好	各項目の合計点数 23点／30点（77%） 各項目の評価点数の平均点 2.3点

(2) 特記事項

特に評価される点	・文化芸術振興事業においては、著名なアーティストによる芸術性の高い公演を実施するとともに、地域のアーティストと連携した県民参加事業等を企画するなど、地域の特性を活かした多彩な事業を展開し、県東部地域の文化芸術振興の拠点施設として、県民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組んだ。 ・施設の安全確保については、日常点検や定期点検の実施の他、実践的な防災訓練の実施や危機管理マニュアル等の整備により、発災時に直ちに防災行動をとれるよう意識付けを行っている。
次年度に向けて改善が望まれる点	特になし。
前年度評価で改善が望まれる点と指摘された点とその改善状況	該当なし。

(3) 第三者評価におけるその他の意見

第三者評価は実施していない。
